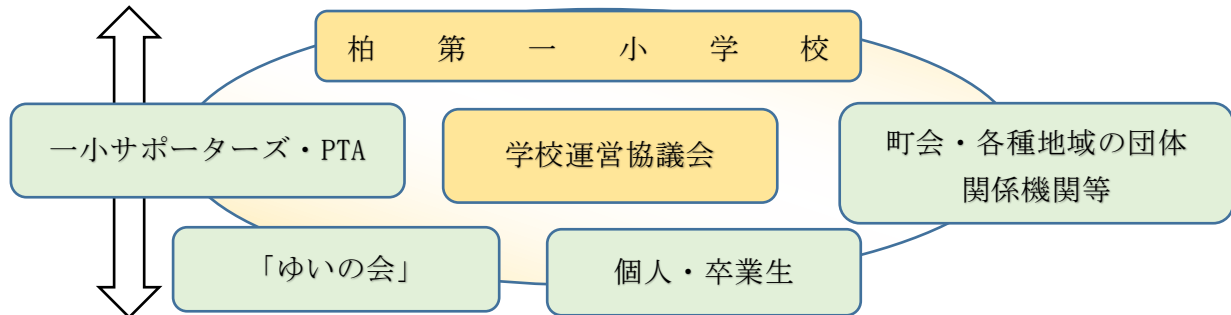


【柏中学校区児童生徒像】

地域に誇りをもち、知性と徳性を備えた人間性豊かな児童生徒の育成



令和4年度柏第一小学校 学校経営 基本方針

【学校教育目標】

かしわ一小けんめい！ ～よく笑い よく遊び よく学ぶ～

【目指す児童像】

自他を認める子

- ・挑戦する力
- ・明るい挨拶
- ・最後までやり通す力
- ・思いやる力
- ・しなやかな力

自ら学びとる子

- ・主体的に学ぶ力
- ・共感する力
- ・活用する力
- ・表現する力
- ・根気強くやりぬく力

強くたくましい子

- ・失敗してもくじけない力
- ・健康、安全に気をつける力
- ・自ら楽しく運動する力

【目指す学校像】

「みんな笑顔でいられる学校」

子供たちが

- ・わくわく登校し、満足して下校する学校
- ・安心して生活できる学校
- ・失敗を恐れず思いっきり挑戦できる学校
- ・互いに認め合える学校
- ・進んで挨拶する学校

【目指す職員像】

「子供たちと楽しめる職員」

- ・子供一人一人を大切にする職員
- ・子供と共に遊び、子供と活動する職員
- ・子供の相談を共感的に受け入れる職員
- ・子供の成長にわくわくできる職員
- ・保護者や地域との連携がとれる職員

○経営方針

学校教育目標達成に向けて、全職員・全児童・全保護者・全地域の方々が、一緒になって取り組む。

- ・学校教育目標をわかりやすい文言にして、学校の目指す児童像について、児童や保護者にも浸透させていく。
- ・教師主体の授業から、児童主体の学習へと転換していく。（授業改善）また、学習意欲を育む「わかる授業」「児童が生き生きと活動する授業」の推進に努める。
- ・児童の指導上の問題や学校の課題については、全職員で共通理解するように努め、解決に向けて協働体制を構築する。「全職員全児童担任の意識」
- ・保護者や地域の皆さんと学校との関係をより身近なものになるように努める。

○令和4年度 柏第一小学校 学校経営方針に係わる重点

【柏一小の課題】→重点の取組

- ◎学力差への対応
- ◎心の教育、長欠傾向の児童への対応
- ◎自己肯定感・自己有用感を高める
- ◎健康教育の充実（含：コロナ感染症対策）
- ◎交通安全・防犯体制
- ◎教職員の指導力の向上
- ◎施設・設備の安全

保護者や地域に信頼される学校づくり

学力差への対応

○授業改善

- ・児童が主となる学習
- ・対話的な授業を必ず授業に組みこむ
- ・複線型等の授業の工夫
- ・習熟度別学習（少人数加配の活用）
- ・一人一台端末の活用
- ・図書館の活用（読書の奨励含む）

○個に応じた支援

- ・ステップアップ学習会（3年生）
（・オンラインドリルの活用（飛び級））
- ・自主学習の啓発

○体験的な学習

- ・外部講師の活用
- ・外部施設の活用

心の教育、長欠傾向の児童への対応

○個に応じた指導・支援

- ・早期発見早期対応
- ・情報の共有化（報告・連絡・相談）
- ・教育相談体制の確立
- ・家庭、関係機関との連携
- ・自己決定できる場の設定
- ・支援を必要とする子への全職員対応

○道徳の交換授業（学年内）

○いじめ防止アンケートの活用

○特別支援員・低学年支援員の活用

○毎年の全学年クラス替え

自己肯定感・自己有用感を高める

- 対話の時間の確保
- なかよしグループ活動（集団活動）
- 肯定的な声かけ・支援
- 具体的な学級目標の設定

健康教育の充実（コロナ対策含む）

- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・換気、手洗い等の日常的な実践
- 教科体育の充実
 - ・十分な運動量の確保
 - ・基礎体力、基礎技能の向上
- 座学、パソコン使用時の姿勢の確認
- 食物アレルギーや健康面で支援を必要な児童の情報共有
- 複数での遊びの奨励

交通安全・防犯体制

- 交通安全教室の実施
- 定期的な登校指導
- 門扉及び昇降口の開閉
- 職員の定期的な敷地内パトロール
- 通学路の安全の見守り

保護者や地域に信頼される学校づくり

- 学校運営協議会の充実
- 学校ホームページの活用
- 保護者アンケートの実施
- 保護者との連携
 - ・一人一台端末の家庭でのルール
 - ・挨拶の奨励
 - ・登下校の見守り

職員の指導力の向上

- 一人一台端末の効果的な活用（校内研修）
- 経験則、指導方法等の伝達
- 自己研修の充実
- 特別支援教育の理解を深める

環境整備

- 敷地内・施設の安全点検
- 校舎内の環境の見直し、整備